

## 体験的参加型学習による 人権・同和教育学習プログラム

### プログラム1

### 「コミュニケーションのすれちがい」

どんな場所で：中学校・高校の授業、PTA 研修、企業研修、公民館講座等

誰を対象に：中・高校生から一般

時間のめやす：90分

ね ら い：①コミュニケーションのすれ違いを体験する。

②正確な情報の受け渡しのために必要なことを考える。

③各自の判断基準や思いこみの傾向を知る。

準 備 物：□ワークシート1…グループに1枚 □ワークシート2・3…1人1枚

□シート（解答の絵）…グループに1枚 □A4白紙…1人2枚

□A3白紙…グループ1枚 □付せん紙…グループに数枚

□ふりかえりシート…1人1枚

### 進め方

#### 1 ファシリテーターの自己紹介とルールの確認をする。 (5分)

○ルール…参加・尊重・守秘（他にあれば参加者から出してもらう）

\*ファシリテーター：学習プログラムの進行役（参加者の気づきや学びを引き出し、交流し、整理する等の役割を持つ人、促進役。）

#### 2 参加者の自己紹介 (10分)

4人程度で1グループをつくり、自己紹介をする。

○自己紹介の内容

①名前、②今の気分、③コミュニケーションで大事だと思うこと

#### 3 マル・サンカク・シカク (15分)

①グループにA4白紙1枚、ワークシート1（裏を向けて）を配布する。

②説明役を1人決めてもらう。説明役の人だけワークシートを見る。

③説明役が口頭で図形を説明し、残りのメンバーは白紙に描く。

\*質問はしない

④描き終わったら、ワークシート1を全員で見て、正確に伝えるために必要なことを話し合う。

⑤いくつかのグループから出た意見を発表してもらい全体で共有する。

\*自分の「伝え方」「聴き方」の傾向に気づく。

#### 4 コミュニケーションのすれちがい (45分)

情報のやりとりの体験を通して、判断基準や思いこみの傾向に気づく。

- ①可能であれば、メンバーを替える。
- ②グループで、少ない情報で活動する人（ワークシート2・メモなし）を1～2人選ぶ。
- ③A4白紙を1人1枚配る。
- ④少ない情報で活動する人以外にワークシート2を配る。
- ⑤ワークシート2と口頭ヒント（「女の子はスカートが嫌い」「頭は丸い」「目は黒丸」）をもとに、個人でA4白紙に絵を描く。
- ⑥各自で描いた絵をグループで見せ合い協議し、A3白紙に「正解」に近い絵をグループの総意で描いていく。「正解」に近づけるために必要な情報を付せん紙に書いて、ファシリテーターに渡し情報をもらい、「正解」に近づける。
- ⑦時間を見計らって、ワークシート3を1人1枚とシート（解答の絵）をグループに1枚配布する。
- ⑧解答の絵を見て、ワークシート3に個人で記入する。
- ⑨ワークシートに沿って、グループで話し合う。

#### 5 ふりかえり全体での共有化 (15分)

- ①ふりかえり用紙に記入する。
- ②グループで共有する
- ③全体で共有する（いくつかのグループに出された意見を発表してもらう）
- ④ファシリテーターは、参加者の意見を整理してまとめたり、感じたことや連絡事項などあれば述べて、会を終了する。



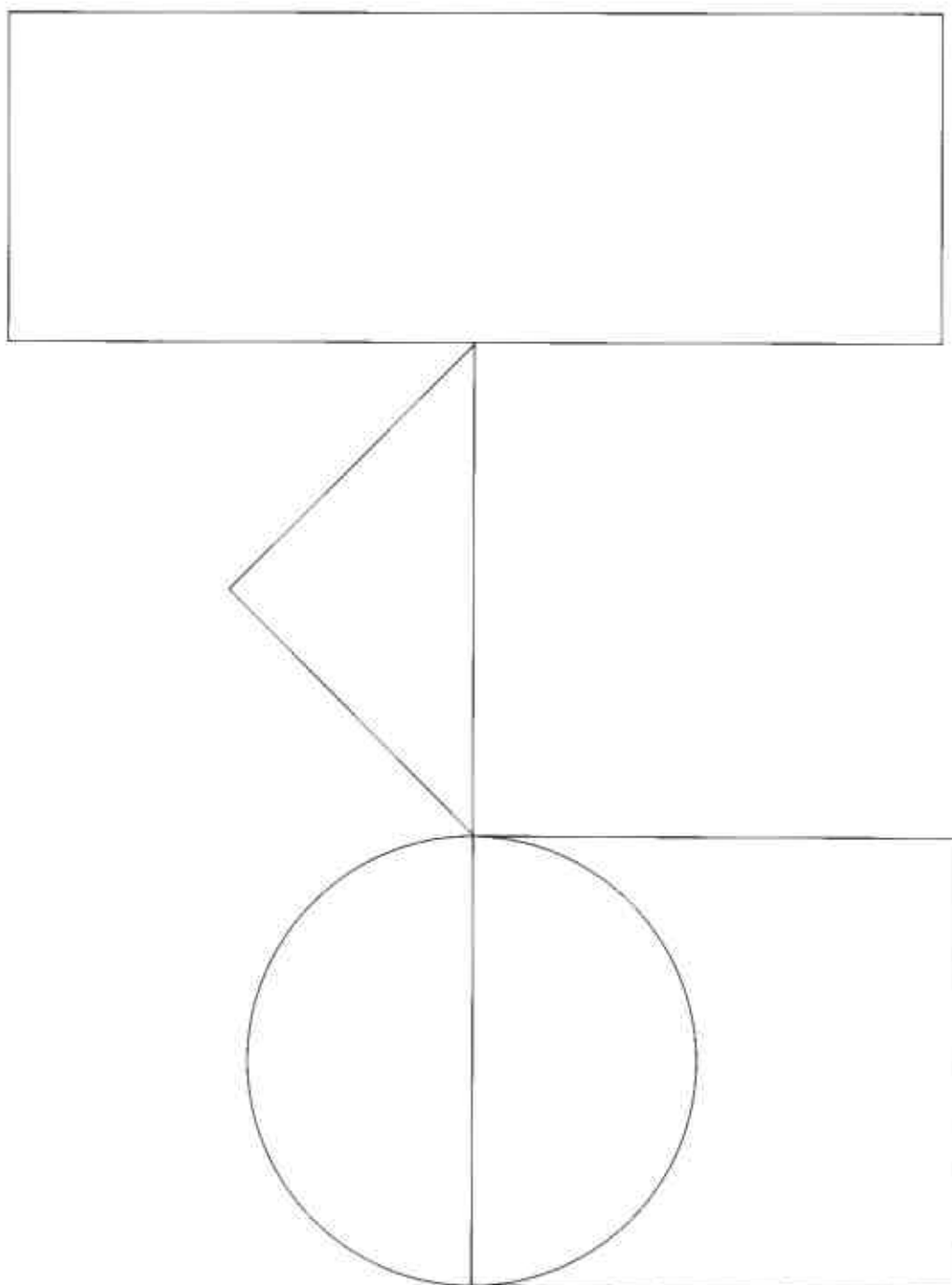
\* 出典

- ・「やってみよう！ 人権・部落問題プログラム」
- ・編集者：財団法人 大阪府人権協会
- ・出版社：解放出版社

※このプログラムは、上記のプログラムを一部変更して掲載させていただいています。

ワークシート1

マル・サンカク・シカク



ワークシート2

それぞれの受けとめ

1	二人の背の高さはちがいます
2	女の子は手に傘を持っています
3	男の子は長靴をはいています
4	女の子は怒っています
5	男の子は笑っています
6	二人はおそろいのシャツを着ています
7	シャツの柄は斜めのしま模様です
8	男の子の髪の毛は長いです

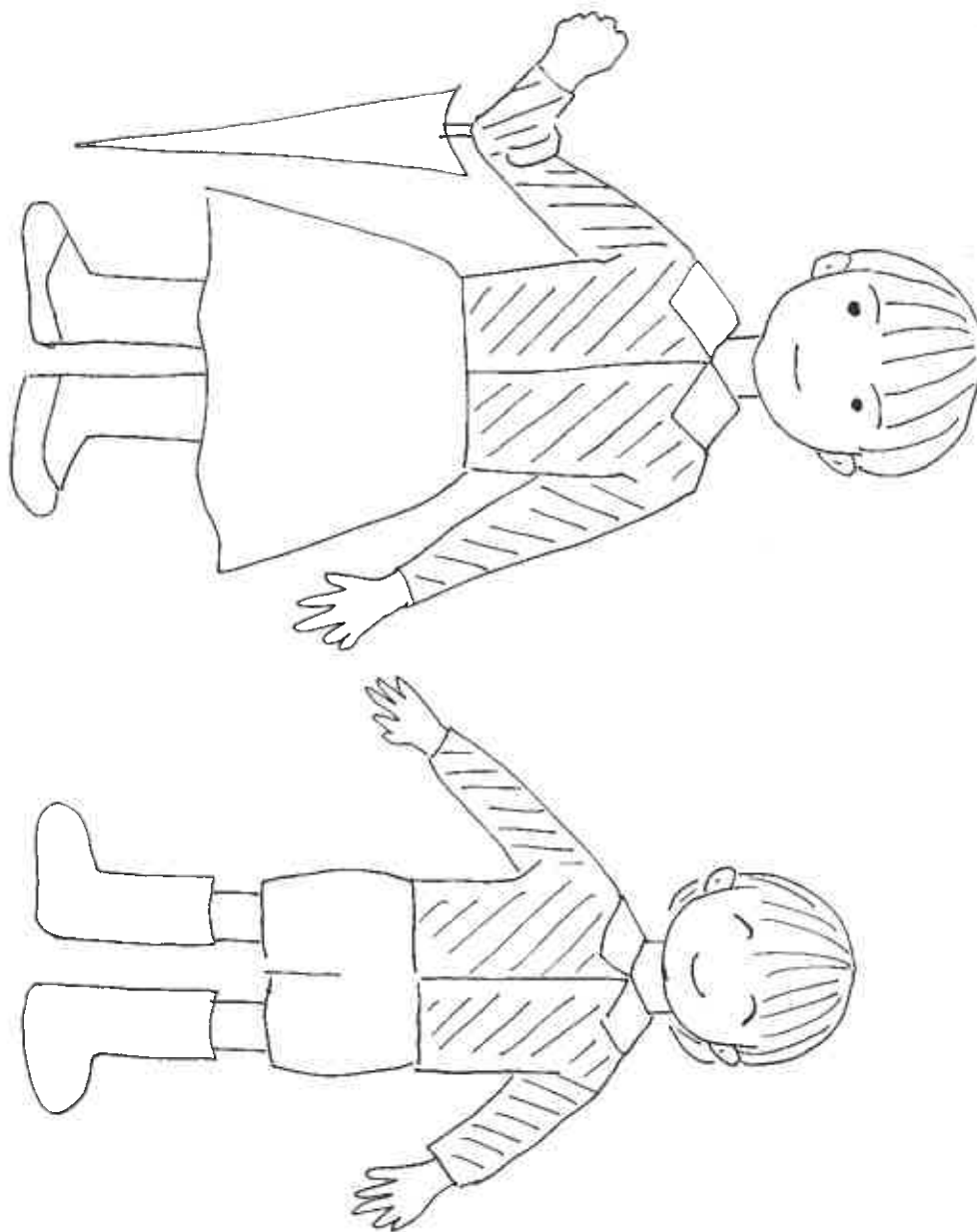
ワークシート3

## 話し合い・ふりかえり

1. グループの人の絵をみてどう感じましたか？
2. グループで共通していた間違いはどこでしたか？  
それは、なぜだと思えますか？
3. 「怒りの表情」や「スカートが嫌い」という感情（気持ち）に関する情報を  
どのように表現しましたか？
4. 2のような間違いが、日常生活で起きることはありますか？
5. 情報を受けとるために大切なことは何だと思えますか？

シート（解答の絵）

解答の絵



ふりかえりシート

ふりかえりシート

1. 今後の参考にしますので、次の該当する記号に○を付けてください。

(1) 今日の研修は

とても参考に  
なった      参考になった      あまり参考に  
ならなかった      ほとんど参考に  
ならなかった

ア———イ———ウ———エ

2. 今日の研修のふりかえり

E: 気づき・学び・分かったことなど	Q: 疑問・課題など
I: アイディア・これからの行動計画	F: 感想

ありがとうございました。

## プログラム2

## 「お願い、協力して！」

どんな場所で：中学校・高校の授業、PTA 研修、企業研修、公民館講座等

誰を対象に：中学生から一般

時間のめやす：70分

ね ら い：①グループによる問題解決方法を通して、相互依存について考える。  
②問題を協力して解決することを通して、言葉によらないコミュニケーションの大切さを認識する。

準 備 物：自由に動き回ることのできるスペース  
できれば、学習参加者を3の倍数にする。ならない場合は、1～2人の学習者にはオブザーバーになってもらう。  
タックシール（5の倍数を、縦に3つ組み合わせて100になる数字を書く。）

例) 30人の場合

55	80	60	75	90	70	80	50	40	60
5	10	30	20	5	15	5	25	30	20
40	10	10	5	5	15	15	25	30	20

## 進め方

## 1 アイスブレイキング (10分)

誕生日チェーン、テレパシーゲームなど

- ・誕生日チェーン：言葉を発しないで、誕生日順に並ぶアクティビティ
- ・テレパシーゲーム：1～3の数字を思い浮かべ、相手にテレパシーで10秒間送る。送った側は送った数字を、受けとった側は受けたと感じた数字を一斉に指で数字を出し合う。

## 2 お願い協力して (45分)

- ①学習者は、輪になって目を閉じる。
- ②ファシリテーターは、番号を書いたタックシールを学習者の額に貼る。  
\*できるだけ縦の列に並んだ数が、隣同士にならないようにする。
- ③貼り終わったら、学習者に  
・話をしないで、3人で100になるグループを作るように指示をする。



- ④すべてのグループが完成した時点、できないままほぼ動きが止まった時点で、ワークシートを配布し「どうしてできたのか」「どうしてできなかったのか」「どうしていたらできたか」などについて、3人のグループで話し合う。
  - \*できていないグループに対して、働きかけはしましたか。
  - \*それはなぜですか。
- ⑤グループで出されたことを全体で交流、共有する。
- ⑥自分の経験や身近な出来事として同じような事はないか、
  - ・3人グループで話し合う。
  - ・グループで出されたことを全体で交流、共有する。

3 振り返り（気づき・発見、感想など）をする。

(15分)

- ①ふりかえりシートに記入する。
- ②グループで話し合う。
- ③グループで出されたことを全体で交流、共有する。

\*気づきや発見は「応用する力」になるといわれます。参加者の気づき・発見を大切に受け取り、全体に還元しましょう。



ワークシート

1. ①全員が3人で100になるグループになれた場合  
どうして、全部のグループができたのか？

②できなかった場合

・ どうしてできなかったのか？

・ どうしていたら、できていただろうか？

2. ①できていないグループに対して、何か働きかけをしましたか？

②それは、なぜですか？

3. これまで、自分の経験や身近な出来事として同じような事はありませんでしたか？

・ 具体例

### プログラム3

### ワールドカフェ

### 「なぜ、人権（教育・啓発）が必要なのか？」

どんな場所で：特定職業従事者、企業、PTA 研修、企業研修、公民館講座等

誰を対象に：成人

時間のめやす：70分

ね ら い：教育・啓発の目的のひとつとして、人権感覚を育むことが挙げられる。人権感覚という場合、個人としての人権感覚について言及されることが多いのではないと思われる。一方で、個人は社会的立場や組織における役割や立場を持って生きている。そのことを考えると、それらの立場や組織としての人権感覚を意識することによって、人権尊重の理念と行動化がより広がりを持つことになると考えられる。そこで、自分にとっての人権の概念や人権学習の意味や意義を考え、ワールドカフェの手法を使って多くの人と交流し多面的に理解することで、人権の行使・保護・教育・啓発・尊重の主体者としての人権感覚を高める機会としたい。

準 備 物：□付せん紙（できれば4色） □模造紙（ポスターの裏紙等でも可）…  
1グループ1枚 □マジック □ホワイトボード（可能であれば）

## 進め方

- 1 グループ作りとアイスブレイキング (5分)  
参加者の数に応じて4～5人のグループを作り、ゲーム・自己紹介などで気やかな雰囲気を作る。
- 2 活動について説明する。 (5分)
  - (1) 活動のタイトル「なぜ、人権（教育・啓発）が必要なのか？」を書くか貼るなどして、研修内容の概要を説明し、意識付けを行う。
  - (2) ワールドカフェについて説明する。
  - (3) 付せん紙、模造紙、マジックを各グループに配布する。
- 3 活動を行う (50分)
  - (1) タイトルの「なぜ、人権（教育・啓発）が必要なのか？」について、
    - ①一般的な理由…ピンクの付せん紙
    - ②個人としての自分にとっての理由…青の付せん紙
    - ③職業人（組織人）としての理由…黄色の付せん紙を個人作業で記入する。 (10分)

## 2. 体験的参加型学習による人権・同和教育学習プログラム

「ワールドカフェ 『なぜ、人権（教育・啓発）が必要なのか？』」

- (2) 個人作業の記入が終わったら、模造紙を4等分し線を引き、付せん紙を貼るスペースを区切る。最初①について、各自の付せん紙を模造紙に貼り、意見交流する。交流の終わりがけに、グループに残る人（ホスト）を決める。ホストはグループに残り、他の人は別々のグループに移動する。 (10分)
- (3) ホストは、新しいメンバーに①について話された内容を話す。次に②について、同じように各自の付せん紙を模造紙に貼り、意見交流を行う。終わったら、ホスト以外は移動する。 (10分)
- (4) 同じことを、③について行う。 (10分)
- (5) 最後は、最初のグループに戻る。他のグループで得た情報、気づきや学びを緑の付せん紙に記入する。記入が終わったら、付せん紙を貼りながら、意見交流を行う。
- (6) 全体で交流する。 (10分)

### 4 振り返りシートに、気づき、発見、感想などを記入する。 (10分)



## ワールドカフェについて

なごやかな雰囲気の中で、少人数で自由に話し合いをし、ときどき他のグループのメンバーと入れ替わって対話を続け、多くの参加者の気づきや学び、経験や知識に触れることができるワークショップの手法のひとつです。

## ワールドカフェ実施の手順

1. 4～5人で1グループを作ります。
2. 15～20分程度のセッション（話し合い）を3ラウンド行います。  
\*人数やテーマによっては、変更も可能です。
3. ラウンド1では、自己紹介の後、最初の質問やテーマについて自由に話し合いを行います。各グループで、アイデアや疑問などは、テーブルに敷いた模造紙に自由に書き込みます。  
\*考えを整理するために、付せん紙などを書いて、貼りながら説明するなどの工夫をすることも可能です。
4. 最初のラウンドが終わったら、1人が「ホスト」としてテーブルに残り、他の人は、別のグループに移動します。
5. ラウンド2では、ホストは、新しく来たメンバーを暖かく迎え、そこでどんな話し合いが行われていたかを、新しいメンバーに説明します。そして、新しいメンバーで質問やテーマについて、さらに話し合いを続けます。
6. ラウンド3では、もとのテーブルに戻って、他のテーブルで得られた情報やアイデアを報告します。
7. 最後に、グループで話し合われたことを出し合って、全体で共有します。



## ビデオライブラリー 新規購入ビデオ情報

平成23年度に購入し、人権教育啓発センターのビデオライブラリーに登録したビデオに関する情報です。

貸出及び平成22年度以前の登録ビデオの情報については、下記連絡先までお問い合わせください。

長崎県人権教育啓発センター（長崎県人権・同和对策課）

住所 〒850-0057 長崎市大黒町3-1 交通産業ビル4階

電話 095-826-5115

FAX 095-826-4874

Web ページ <http://www.pref.nagasaki.jp/jinken/>

番号	ビデオタイトル	対象	分	内 容	備考
229	部落解放運動の歩み 人間は尊敬すべきもの	学校 市民啓発 企業研修	60	1922年3月3日、京都市の岡崎公会堂で全国水平社が創立されました。この大会で読み上げられた水平社宣言は、あらゆる差別の撤廃と、すべての人が人として尊重される社会の実現を呼びかけた、日本最初の人権宣言とされています。	DVD
230	「虎ハ眠ラズ」 ～在日朝鮮人ハンセン 病回復者 金泰九～	青年 ・ 成人	30	在日とハンセン病の二重の差別を受けながらも、人権運動の先頭に立ち続けた金泰九85歳。その苛烈な人生から我々が学ぶものとは？18歳の少女の目線で描かれた真実の歴史。	DVD
231	虹のきずな	児童 ・ 生徒 ・ 成人	本編 … 31分  特別 編集 版 … 16分	情報不足や誤った情報、あるいはそれに基づく不正確な知識や思い込みは、同和問題やHIV感染者・ハンセン病患者等に対する差別に限らず、東日本大震災後の放射能汚染を巡るいじめや宿泊拒否など、さまざまな人権問題を引き起こす原因の一つと言えます。その点を踏まえて、この映画では、差別に対する「傍観者」あるいは「無関心」という立場に焦点を当てました。そして、さまざまな問題を自分の問題として引き寄せて考えること、人と人がしっかりとコミュニケーションを取ること、お互いを一人の人として認め合うこと、自立した考えや行動を取ること…の大切さを訴える作品を目指しました。	DVD アニメ

番号	ビデオタイトル	対象	分	内 容	備 考
232	クリームパン	中・高・成人	36	<p>子どもや若者たちの間で、あまりにも軽く使われる「死にたい」「殺すぞ」といった言葉。</p> <p>ドラマでは虐待やいじめなど、人を傷つけいのちを奪うのも「人」ならば、傷つき死に瀕してしている人の命を救うのも「人」であるという視点から、子どもへの虐待や自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えている。</p>	DVD
233	ひとみ輝くとき	小高学年・中・高	35	<p>毎日ひっきりなしに送られてくる誹謗中傷や現金を要求するメールに悩む拓也。次第に追い詰められ不登校に陥り、死を意識して郊外の展望台に立ったところを老夫婦に声をかけられ事なきをえる。</p> <p>いじめの責任は加害者だけにあるのか？学校・家庭・地域が一体となってこの問題に取り組み、クラス全員で話し合い、ほとんどの生徒達が仲裁者ではなく、傍観者や観衆であることに気づいていく。</p> <p>いじめはしない・させない・見逃さないために、話し合いのできる映像です。</p>	DVD
234	この空の下で	小学生から	42	<p>ある夫婦が、町内会長の役を引き受けることによって、今まで気づかないで過ごしていた地域の人々の中にある心の壁、ひいては自分の心の壁に気づき、手探りでその心の壁を壊すために自分たちは何ができるだろうかと考え、行動に移していく姿を描いた作品です。</p>	DVD アニメ
235	こころの病と向きあう	高校生・成人	25	<p>本作は、うつ病や統合失調症などの心の病に罹患（りかん）した人々や周囲の人々の日常をドキュメントし、心の病に対する偏見について問い直すと同時に患者の人権についても考える教材です。</p>	DVD

## 県内の人権・同和教育指導者の皆さん

番号	市町	お名前	
1	長崎市	石村 榮一	
2		林田 一彦	
3		鐘ヶ江修身	
4		松添 憲	
5		本田勝一郎	
6		森田 幸一	
7		椋本 博志	
8		原 洋	
9		川副 忠子	
10		矢川 豊彦	
11		伊藤 闊	
12		岩川 克行	
13		松下 裕之	
14		三藤 理絵	
15		内海 珠美	
16		浦田 隆史	
17		野本美和子	
18		中村 和久	
19	佐世保市	相川 孝子	
20		古川 清司	
21		竹下 浩司	
22		松永 雅範	
23		小佐々慎二	
24		藪 英彦	
25		中原 久夫	
26		諫早市	小川 供孝
27			濱口 美穂
28			小谷 富敏
29	吉野 美穂		
30	松尾 洋		
31	佐々木孝浩		
32	増山 和彦		

番号	市町	お名前
33	大村市	大塚 真一
34		高田 豊司
35	対馬市	吉田千津代
36		佐伯満智子
37		有川 義明
38		阿比留義教
39		勝見 廣治
40		松村 義弥
41		本多 直純
42		林田 賢作
43	壱岐市	土谷 敬治
44		山口 拓也
45		米倉 徹
46		末永 賢一
47		吉井 隆司
48	五島市	平山 忠明
49		松下 太郎
50	松浦市	田中 良彦
51	平戸市	今川 亮生
52		神保 裕行

番号	市町	お名前
53	雲仙市	伊藤 伸広
54		塩津 茂雄
55		丸本 征義
56	南島原市	天本 悟
57		草野 正士
58		中村 照男
59		森野 直
60		土手野和広
61	新上五島町	道津喜八郎
62	時津町	傳 均
63	長与町	矢川 輝人
64	西海市	田崎 秀和
65		松本 英俊
66		上野 公嗣

平成23年度に、人権・同和教育指導者として登録をいただいた方々です。

連絡先等、詳しいことは人権・同和対策課まで、お問い合わせください。

長崎県県民生活部人権・同和対策課

〒850-0057 長崎市大黒町3-1 交通産業ビル4階

TEL 095-826-2585 FAX 095-826-4874





## じんけん ながさき

(人権啓発資料22 人権・同和教育と啓発をすすめるために)

平成25年3月発行

発行 長崎県県民生活部人権・同和对策課

〒850-0057 長崎市大黒町3-1 交通産業ビル4階

TEL 095-824-1111 (内線2321)

直通 095-826-2585